

まんすりー 全旅連情報

2012.8
Vol.210

発行日●平成24年8月1日(毎月1回発行) 定価150円

夏休みハローキティ宿泊キャンペーン



© 1976, 2012 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G530858

今月の主な内容

全旅連オリジナル「ハローキティ」グッズ

- ・平成24年度全旅連シルバースター部会総代会開催
- ・平成24年度全旅連青年部臨時総会・陳情活動
- ・ほう素・ふっ素暫定排水基準平成25年見直しに向けて

NEWS	平成24年度全旅連シルバースター部会総代会開催	1
	平成24年度全旅連青年部臨時総会・陳情活動	4
	都道府県組合等の情報	5
	ほう素・ふっ素暫定排水基準平成25年見直しに向けて／	6
	第51回全旅連シルバースター登録審査委員会開催／	
	『旅館・ホテルの節電対策マニュアル』で電力使用の見直しを	
	全旅連青年部広報室	8
	平成24年度全旅連女性経営者の会(JKK)定例会・勉強会開催	9
	第15回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介	10
	省庁便り	11
	全旅連会議開催／経営ワンポイントアドバイス／	12
	協定商社からのお知らせ	
	旅館ホテル生衛組合の組合員の皆様へ振興事業貸付のご案内	13
	全旅連協定商社紹介	14
	全旅連協定商社会 名簿	16



今号表紙写真…全旅連オリジナルデザインの浴衣を着たハローキティ!

世代を超えて愛され続けている株式会社サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」を使用した今夏の旅館・ホテルや観光地の誘客に向けたキャンペーン(平成24年6月1日～8月31日)。

全旅連オリジナルグッズとして、うちわ171,700本(内シルバースター部会作成「人に優しい宿」うちわ38,000本)、子供用甚平3,000枚、ランチョンマット100,000枚を作成し、全国の宿でキャンペーンを実施中。

♥本キャンペーンの実施にあたり、全旅連オリジナルグッズの申込等、多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

全旅連「宿ネット」イメージキャラクターの「ココよちゃん」です。
宿をイメージさせる姿に、頭の煙突からは宿の空室状況を表す「○・△・×」の煙を出しています。

原稿・情報をお寄せください。

ユニークな経営、地域の活動などを行っている組合や組合員の情報をお寄せください。自薦・他薦を問いません。
その他、ご意見や提言などもお待ちしております。

投稿方法

●E-mail ●郵送 ●FAXにて(連絡先を明記してください。)

送り先

●E-mail: ajra@alpha.ocn.ne.jp

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全旅連事務局

Tel.03-3263-4428 FAX.03-3263-9789

まんすりー 全旅連情報

発行日:平成24年8月1日(毎月1回発行)
定 価:150円
発行人:清澤正人
印 刷:山陽印刷株式会社

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F
TEL 03-3263-4428/FAX 03-3263-9789
「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

平成24年度全旅連シルバースター部会総代会開催

全旅連シルバースター部会（多田計介部会長）は7月10日、全国47都道府県の地区委員らの出席のもと、東京・千代田区の都道府県会館で平成24年度総代会を開き、議事のほか、観光庁から井手憲文長官を講師に招き「観光立国の推進に関する最近の動向と取組について」の研修会を実施した。



「部会の拡充に努めていきたい」と語る多田部会長

冒頭、大木正治全旅連会長代行は「今、こうして総代会に臨んでいると、ちょうど15年前にシルバースター部会の立ち上げで初代部会長として大変緊張した自分を思い出しているが、現在も多くの会員が現役としてこうして部会を支えてくださっていることは大変嬉しいことであり、また、心から感謝を申し上げたい気持ちです」と述べた。また、「部会では登録施設の加入メリットとして、固定資産税の軽減や高齢者雇用促進奨励金の交付など、税制や国の助成制度などに取り組んできたが、現在、固定資産税については平成27年からの取組みが決まっている。しかしながら、消費税率アップが検討されている現在、私たちは、あらためて、消費税の外税化に向けて本腰を入れて取り組まなくてはならない時を迎えている。消費税は平成16年4月から消費税込みの価格を表示する総額表示が義務付けられたが、それが増税後は大変なことになる。外税化で旅館ホテルの利益を守るためにも、もう一度原点に帰って消費税はきちんとお客さまからいただくという外税表示方式に戻ってもらうよう運動している」と述べ協力を求めた。さらに、インバウンド誘致戦略についても触れ、「これからは海外の高齢者の受け入れ策の構築



あいさつする大木全旅連会長代行(写真左上)と山内厚生労働省健康局生活衛生課課長補佐(写真左下) 研修会で講師の井手観光庁長官と握手する多田部会長

も誘致活動として必要になってきている」と語った。

また、来賓の山内満正厚生労働省健康局生活衛生課課長補佐は「今は、65歳以上の人口は昨年9月現在で2980万人で、これは1億2800万人の総人口における割合では23.3%で、4人に1人という状況である。その高齢者に喜んでもらえるためによりよいサービスや快適な環境の提供に日々努力されているみなさまには心から敬意を表したい」と述べた。また、「東日本大震災以後の観光地の冷え込み、戻りの遅い外国人観光客、加えて、原発事故による節電問題などみなさまの経営環境は誠に厳しいものがあるが、こうした状況に負けることなくいろいろ工夫を凝らしてこの苦境を乗り切っていただきたい。厚生労働省としても様々な政策をもって支援していく考えだ」と激励した。

多田部会長は「震災で東北の会員が減少してしまったことは残念なことだが、今、また、全国から多くのシルバースター登録施設への申請があり、励みになっている。年間、少なくとも20軒の会員が増えており、あらためて部会の拡充に努めていく決意でいる」と述べ、地区会員に部会運営への協力を要請した。

47都道府県の地区委員らの出席のもと行った総代会



平成23年度シルバースター部会事業報告では、販促ツールの作成配布事業（“あなたの心を揺さぶった宿のサービス”として募ったキャンペーン事業には1454件の応募があった）、集客事業（「楽天トラベル」内に構築した『人に優しい宿』を中心にした事業）のほか、「旅館・ホテル図解『放射能の知識』」や「旅館・ホテルの節電対策マニュアル」と旅館・ホテルの節電呼びかけチラシなどを作成した経営研究委員会が推進する事業などが報告され、了承された。

平成24年度事業計画は、「部会員（事業所）特典事業」としている販促ツールの作成配布では、全旅連オリジナル「ハローキティ」グッズへの取組み（現在実施中）のほか、全旅連ホームページ「宿ネット」でのPR、インターネット集客事業の推進等に努めていく。

また、「募集事業」でのシルバースターの登録拡大は、本年度も重要な活動として捉えているが、当部会は7月20日に第51回登録審査委員会を開催（審査結果7頁参照）することになっている。このほか「人に優しい地域の宿づくり賞」のエントリー推進や宿泊施設総合品質管理の推進を図り、安心安全管理検定など（検定サイト試験合格者には認定証を発行）への取組みを促していく。「集客事業」では、(株)サンリオ「ハローキティ」との契約が8月31日で終了することから、秋に新キャンペーンの展開について検討していく。その他、関係団体や各種委員会との事業の展開を図っている。

事業計画では、インターネット集客事業の推進として現在、シルバースター部会公式サイト「人に優しい宿サイト」の作成・運営を行っている(株)DIOジャパンが「各施設がより多く露出されるよう一部リニューアルされている」と報告、またインターネット情報地図サービス「マピオン」が「マピオン電話帳」となり、携帯電話やスマートフォンにも対応したサービスに拡充されると説明。続いて、楽天トラベル(株)から国内最大級のインターネット総合旅行サイトの「楽天トラベル」内に「全旅連が認定 人に優しい宿」（平成21年6月～）のコンテンツが掲載され、現在、宿泊流通が順調に行われているが、同社の担当者がプロジェクターを使ってその流れを次のように説明した。

◇「人に優しい宿」は「還暦」「赤ちゃん」「バリアフリー」「3世代」をキーワードとしたプランをピックアップして宿泊予約のフックとして設置している（シルバースター登録宿だけが検索対象となっている）。4万5千人以上が「人に優しい宿」特集ページを利用している



DIOジャパンの鈴木孝一氏(左)と楽天トラベルの神山一彦氏(右)はプロジェクターを使ってそれぞれに説明した

コラムで 「シルバースター登録施設の取組み」を

同部会はシルバースター制度の周知徹底を図り、登録や登録施設利用の拡大にもつなげたいとし、「シルバースター登録施設の取組み」をタイトルとしたコラムを業界専門紙の観光経済新聞



コラムについて説明する
桜井唱弘経営研究委員長

に掲載していくことを決めた。掲載内容は同部会の地区委員らに、自館と地域の「人に優しい取組み」をリレー方式で語ってもらうというもの。掲載は毎週1回。記事は240字前後で近影の顔写真が添えられる。

が、4つのキーワードのうち、赤ちゃんとバリアフリーは好調、3世代と還暦はいまひとつでページビューや訪問者数が少ない。しかし、今年の夏からチューニングを行い「還暦」を検索の多い「祝」へ変更し、ニーズと一致したプランを提供することによって更なる流通アップを図ることができた。引き続き、キーワードを含むプラン造成に協力をお願いしたい。

全旅連検定サイト 旅館・ホテル安心安全管理検定サイト

<http://yado-kentei.jp/>

旅館・ホテル新型インフルエンザ予防・対策管理検定サイト

<http://yado-kentei.jp/influ/>

全旅連検定サイト 旅館・ホテル調理師管理検定サイト

<http://yado-kentei.jp/cook/>

観光立国の 推進に関する 最近の動向と 取組について

観光庁長官
井手憲文氏



平成24年度総代会での研修会は、井手憲文観光庁長官による「観光立国の推進に関する最近の動向と取組について」の講演会。概要は次の通り。

◇国内における旅行消費額及び外国人旅行者受入れ数の国際比較（平成22年）をみると、旅行消費額は23.8兆円で、その消費割合は日本人国内旅行が67.5%、日本人国内日帰り旅行が21.4%、訪日外国人旅行が5.7%、そして、日本人海外旅行が5.4%となっている。また、外国人旅行受入れ数で、アジア地域では中国、マレーシア、香港、タイと続き、日本は韓国にも遅れをとっており、日本は世界で30位、アジアで8位という現状だ。

◇平成24年3月30日に閣議決定・国会報告された新たな観光立国推進基本計画の特徴は、観光は、国の成長戦略の柱の一つであり、長らく経済が低迷し地域が疲弊する中、人口減少・少子高齢化の閉塞状況を打ち破り、急速に経済成長するアジアの観光需要を取込むとともに、地域経済の活性化・雇用機会の増大等を図るとしていることだ。そして目指すべきことは、「観光の裾野の拡大と観光の質の向上が必要である」とし、「東南アジア等、富裕層・中間層等急速な拡大が見込まれる市場の旅行者の獲得」「ゴールデンルートの次の目的地の開拓・情報発信」などを挙げている。そして、観光地域や旅行サービスの質の向上を



はかるため、基本的な目標に「満足度の指標（訪日外国人旅行者の満足度、観光地域の旅行者満足度）」を追加している。

◇政府が総合的かつ計画的に講ずべき施策としては①国内外から選好される魅力ある観光地づくり（観光地域のブランド化と複数地域間の広域連携等）②オールジャパンによる訪日プロモーションの実施③国際会議等のMICE分野の国際競争力強化④休暇改革の推進一で、これらは観光庁が主導的な役割を果たすべき主な施策である。一方、政府全体により講ずべき施策としては、①観光振興等に資する社会資本整備等の観光振興等への配慮②スポーツツーリズムの推進③国際拠点空港の整備等④クールジャパンの海外展開⑤査証発給手続の迅速化・円滑化⑥出入国手続の迅速化・円滑化一などとしている。

◇次に「ポジティブ・オフ」運動について述べてみたい。これは休暇を取得して外出や旅などを楽しむことを積極的に促進し、休み（オフ）を前向き（ポジティブ）にとらえて楽しもう、という運動。東日本大震災を機に、ライフスタイルを見直す気運が高まっていることを捉えての運動の展開である。「オフ」が、個人（従業員）、企業、社会・経済の3者それぞれを取り持ち、プラスの好環境を生み出すとして、今後、観光庁、内閣府、厚生労働省、経済産業省が推進していき、同時に、家族の時間プロジェクト、ユニバーサルツーリズムの促進などを進めていく。

◇東日本大震災後の施策（旅行需要の回復・促進）としては正確な情報の発信や旅行需要の喚起策が急務であり、国内旅行ではツアー造成の支援、東北観光博の実施など7項目を挙げ、また、訪日外国人旅行では、日本の安全・安心に関する正確な発信、海外消費者向けプロモーション活動など7項目を挙げている。

平成24年度全旅連青年部臨時総会・陳情活動



全旅連青年部(横山公大部長)は7月18日、東京・千代田区のホテルニューオータニで臨時総会を開き、平成25・26年度の次期部長を決める選挙を行い、新部長に山口敦史氏(山形県天童市・ほほえみの宿 滝の湯)を選任したほか、陳情活動、研修会などを行った。



横山部長と握手を交わす25・26年度次期部長に当選した山口氏(右)

次期部長選挙は山口敦史、山本剛史(群馬県・草津温泉)両氏の立候補者があり、当日出席した都道府県部長らの投票で決定した。次期部長を選挙で決めるのは、前回の横山現部長に続き2回目となるが、前回同様、今回も僅票差による選挙結果となった。当選者は来年開催される通常総会で承認されたのち正式に第21代の青年部長に就任する。

このほか第21回青年部全国大会についての報告があり、多くの参加を呼びかけた。また、研修会となった第5回県部長サミットは「ここが足りない!日本の観光」と題して小林義明氏が講演(次回に掲載の予定)した。



「全国大会への参加を」と沖縄県のみなさん



観光立国推進に向けた業界の要望を訴えた青年部。左は羽田国交大臣(大臣室で)、議員会館での長野県青年部の陳情



懇親会には鳩山元首相や川内観議連会長ら大勢の議員らが駆けつけた

青年部の臨時総会では陳情活動も行われた。2007年に施行される観光立国推進基本法は多くの成果を挙げたが、旅館ホテル業界では多様化する顧客のニーズや予約形態の変化により、新たな対応が求められている中、さらなる積極的な観光立国推進に向けた旅館ホテル業界の要望を訴えながら、国



「全国大会in沖縄では九州・沖縄ブロックでお迎えします」とあいさつ



「新部長を補佐して頑張ります」と握手を交わす山本氏(右)

の観光施策に盛り込んでもらうよう要望していくことになった。与党民主党の衆参391名の国会議員に対して行われた陳情では懇親会への案内も行われ、同じく同ホテルで催された懇親会には鳩山元首相はじめ65名の議員本人が駆けつけ、それぞれのブロックで懇談した。要望は大きく分けて4項目。「国内旅行の活性化」では、有給休暇取得円滑化と休暇改革、観光立国推進旅行券の発行、「外国人旅行客誘致の更なる促進」では、海外開催旅行博出展におけるプロモーションの強化、外国人旅行客満足度向上のための外国人接客スタッフ雇用の促進、「インターネット経由予約の法整備および旅行業法の見直し」、そして、「災害における罹災者受入れガイドラインの強化」では、罹災者受入れ施設事前登録制度の導入や罹災者受入れマニュアルの設置などの提案をそれぞれ訴えた。

都道府県組合等の情報

東北ブロック協議会が東京電力へ要望書提出



写真の上から民主党幹事長室、東電本社での陳情、対策委員会の松村委員長



全旅連東北ブロック協議会（佐藤勘三郎会長）は7月12日、原発風評被害対策検討委員会（松村譲裕委員長）を衆議院議員会館第3会議室で開き、東京電力原子力発電所事故による風評被害に関する賠償請求要望についての懇談会を開いた。福島を除く東北5県の各組合の代表ら、合わせて28人が集まった。

現在、東京電力は東北5県の組合に風評被害があったことを認め、一定期間にキャンセルした場合に損失の一部を補償するとした新しい賠償案を提示しているが、対策委員会では、「この案では、予約控えによる売上減少は賠償されないなど、実際の損害を賠償できる仕組みには遠く及ばない」とした上で、「福島・茨城・栃木・群馬のホテル旅館と同等、損害額（売上減収）を基本とした賠償を求めるとし、「その際、賠償対象となる期間、賠償の割合などにつき、できるだけ被害の実態を反映したものとなるよう配慮してもらう」ことを確認した。

このあと、東北5県の与党民主党議員に対して、一致協力し政治解決を図ってもらいたいと要望。東京電力、文部科学省、経済産業省のほか、民主党幹事長室を訪れ、陳情を行った。

関東甲信越ブロック総会開催



関東甲信越ブロック会が埼玉県川越市で総会を開催し各県提出議案を審議した

全旅連関東甲信越ブロック会（笹本森雄会長）は7月12日、平成24年度総会を埼玉県川越市の「旅館 佐久間」で開き、事業計画案など全議案を異議なく承認した。議事の中の各県提出議案では、長野県から東電問題と税制問題について次のような発言があった。



◇東京電力の賠償については、長野県は現在、文部科学省に設置された原子力損害賠償紛争解決センターに対して、弁護士を立てて調停の申し入れに取り組んでいる。調停は紛争当事者間の話し合いにより紛争を解決する制度であるが、この1年間の交渉をもって何らかの結論を出していく考えだ。他県のみなさんがこの「調停」についての情報を知りたい場合は長野県組合に問い合わせしてほしい。また、県では一緒になって調停依頼を行っていくことも考えている。

◇業界の税制改正要望は「外税化」に主眼を置いて現在活動しているが、消費税の増税では宿泊業に対する軽減税率の導入も視野に入れていくようお願いしたい。欧州では消費税に当たる付加価値税の標準税率が20%前後にしている国がざらにあり、その中には食料品などのほかに宿泊施設の利用にも5.5%～12%の軽減税率を適用している国も決して少なくない。消費税の軽減税率を業界運動として強く進めていくことを提言したい。

長野県と同提案については、関ブロの意見集約ということで、全旅連に要望書をもって申し入れていくことを決めた。次回関ブロ会議は新潟県で行われる。

ほう素・ふっ素暫定排水基準平成25年見直しに向けて

旅館業（温泉を利用するもの）に係る特定施設を設置している事業場については、引き続き暫定排水基準が設定されているが、環境省では「温泉排水規制に関する検討会」を設置し、平成25年の見直しに向け、検討を進めている。

この委員会は、須藤隆一東北大学大学院工学研究課客員教授を座長とする学識経験者や事業者等の関係者及び地方公共団体職員等で構成され、平成22年8月から平成24年3月までに6回開催された。環境省としては、次の見直しまでには、きちんと規制のあり方等も含めてもう一度整理をして臨みたいとしている。

そもそも温泉旅館では、自然湧出している温泉を一部利用しているだけでも係らず、規制対象とされており、同様に温泉利用をしていても宿泊施設（厨房施設）のない日帰り温泉施設は、規制対象となっていないことから、全旅連では、数度にわたり、旅館業も規制対象から除外するよう要望している。この7月20日にも、佐藤会長、大木会長代行、野澤事業委員長から環境省南川事務次官に対して陳情書を手渡している。

ちなみに、環境省が平成22年末に実施した温泉源泉調査の結果によれば、一律排水規制並みにした場合、基準値を超える可能性がある源泉が全体の8.5%あるという。これは、全国の源泉総数2万8033本の98%にあたる2万7608本を調査したもので、このうち2342本でほう素やふっ素の源泉濃度が一般の基準値を上回った（下図）。ただし、これは源泉を調査したもので、実際に温泉旅館が使用して排水する場合、温泉の温度を下げるために加水したり、他の雑排水と混ざったりすることで希釈され、基準値を下回る場合もある。

排水処理技術を公募（環境省）

現状では、排水処理技術を導入する場合、小規模零細な事業者にとって、多大なコスト負担となるだけでなく、現時点での排水処理技術では、凝集剤の投入により、膨大な排水処理汚泥が発生し、ふっ素・ほう素を含む有害廃棄物を増加させる結果となる等、適用可能な排水処理技術は極めて限定的となっている。このため、環境省では、温泉排水処理技術の実証試験を実施し、温泉旅館における導入の可能性の検証を行うため、温泉排水中のほう素又はふっ素の除去技術を対象に技術の公募も行うなど、実用化に向けての検討も進めている。



温泉排水に対するほう素、ふっ素の規制の経緯

◇昭和49年12月 旅館業の用に供する施設への規制（特定施設への追加）

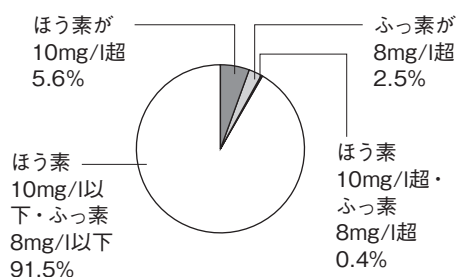
昭和49年9月の中央公害対策審議会の答申を受け、旅館業の用に供するちゅう房施設、洗たく施設及び入浴施設が、水質汚濁防止法の「特定施設」に追加され、排水規制の適用対象となる。

◇平成13年6月 ほう素、ふっ素の排水規制（排水基準項目への追加）

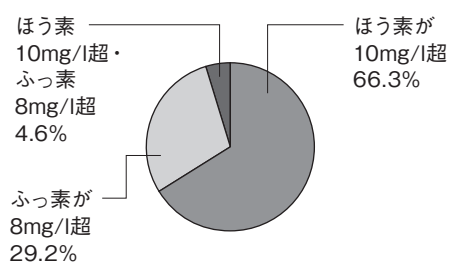
WHO飲料水水質ガイドラインや水道水水質基準等を参考に平成11年2月の中央環境審議会で検討した結果、ほう素及びふっ素が人の健康の保護に関する環境基準の項目に追加された。これを受け、ほう素、ふっ素が水質汚濁防止法の排水基準項目へ追加された。

源泉本数でみた場合の「ほう素、ふっ素の濃度が高い源泉」の占める割合（左図）と「ほう素、ふっ素の濃度が高い源泉」の内訳（右図）《全体》

● 回答のあった源泉（27,608本）の内訳《全体》



● 濃度が高い源泉（2,342本）の内訳《全体》



平成22年 環境省調べ

暫定排水基準設定の経緯

平成13年の改正省令施行以来、温泉旅館については、ほう素、ふっ素について暫定排水基準が設定され、平成16年、19年、22年の見直し後も引き続き暫定排水基準が設定されている。

基準 区分	日排水量	ほう素 (mg/ℓ)		ふっ素 (mg/ℓ)	
		暫定基準	一律基準	暫定基準	一律基準
S49年以前湧出	—	500	230 海域	50	15 海域
S49年以降湧出	50m³未満 50m³以上		10 その他	15	8 その他

温泉利用状況（平成20年度末）

源泉総数 (A)+(B)		28,033
利用源泉数 (A)	自噴	4,874
	動力	13,997
未利用源泉数 (B)	自噴	3,149
	動力	6,015
温泉利用の宿泊施設数		14,787
温泉利用の公衆浴場数		7,913

※昭和49年12月の水質汚濁防止法の一部を改正する政令施行以前、以降で区分

第51回全旅連シルバースター登録審査委員会開催

第51回全旅連シルバースター登録審査委員会

7月20日（金）に全国旅館会館にて第51回シルバースター登録審査委員会（大木正治委員長）が開催され、申請施設12軒を審査し、右記の12軒が登録。これで全国のシルバースター登録施設は891軒（7/20現在）。審査終了後、シルバースター部会の多田部会長より、今夏の旅館・ホテルや観光地の誘客に向けたキャンペーンに使用するために作成した、世代を超えて愛され続けている株式会社サンリオの人気キャラクター「ハローキティ」を使用した全旅連オリジナル「人に優しい宿」のうちわ、ランチョンマット（子供用敷紙）、子供用甚平を審査委員に披露した。

都道府県	旅館・ホテル名	地域名	登録番号
奈良県	大和高原ボスコヴィラ	奈良市	1279
熊本県	熊本グランドホテル佳松園	熊本市	1280
栃木県	お宿ひがしやま	那須温泉	1281
東京都	ホテル龍名館東京	日本橋	1282
大分県	美湯の宿 両築別邸	別府温泉	1283
鳥取県	大山ロイヤルホテル	大山温泉	1284
北海道	札幌第一ホテル	札幌市中央区	1285
三重県	湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル	鳥羽市	1286
福島県	福住旅館	飯坂温泉	1287
富山県	ホテル黒部	宇奈月温泉	1288
長野県	丸金旅館	白馬八方温泉	1289
新潟県	雪国の宿 高半	湯沢温泉	1290

【『旅館・ホテルの節電対策マニュアル』で電力使用の見直しを】

全旅連事業委員会（環境推進小委員会）では『旅館・ホテルの節電対策マニュアル』を本年2月に作成しました。電力使用が増える夏に役立つ「旅館・ホテルの節電対策のポイント」がまとめられた内容となっております。

全旅連公式サイト「宿ネット」の組合員専用ページへアクセス（下記URL参照）すると『旅館・ホテルの節電対策マニュアル』の他、『節電対策チラシ』、『節電ポスター』が閲覧できますので、施設の電力使用の見直しにお役立てください。

全旅連公式サイト「宿ネット」組合員専用ページ

『旅館・ホテルの節電対策マニュアル』

URL：http://www.yadonet.ne.jp/member/manual/setsuden.html





平成24年度全旅連青年部第44回定時総会

今回は4月18日に開催された全旅連青年部第44回定時総会と消費税外税表示総決起大会並びに民主党全議員に対して行った消費税外税表示の陳情を中心に紹介します。



挨拶する横山公大部長

全旅連青年部第44回定時総会が4月18日に都道府県会館で開催されました。横山公大部長からのあいさつは昨年3月に起きた東日本大震災、その後のじゃらんnetのFacebookページ作成問題、楽天事後カード決済問題に対処したこと。9月の沖縄で開催される全国大会へについて大好きな沖縄で開催することに対する喜び、家族、スタッフと一緒に楽しめる大会を目指すこと。

そして7月18日の臨時総会において行われる次期部長選挙について述べられました。

総会に先立って開催された旅政連消費税外税表示推進決起大会では親会旅政連佐藤信幸理事長、衆議院の川内博史先生からご挨拶いただき小原健史様から青年部の陳情活動が特消税撤廃につながった歴史をお話いただき、激賞をいただきました。その後、各県ごとに分かれて議員会館まで移動して民主党全議員にたいして消費税の増税の反対と現行の総額表示ではなく、外税表示

連青年部 第44回 定時総会



陳情活動の激賞を述べる9代青年部長 小原氏

にするように陳情を行いました。7月の臨時総会の前後日程でも再度、陳情活動を行う予定です。



懇親会では全員で大きな輪をつくり沖縄を表現

懇親会は会場を移動して響 風庭 赤坂 Dynamic Kitchen & Barにて全国大会開催地の沖縄のイメージVTRを見ながら盛大に開催されました。

第4回県部長サミット

翌日の19日には第4回県部長サミットで二部構成によるセミナーを開催しました、まずは緊急特別対策委員会主催による『悪質クレーム対策について』弁護士の中井淳先生より講演いただきました。

続いて旅館アカデミー委員会による『探偵!どや顔スクープ』コーディネーターAOSTYLE 住百合子先生により講演、宿リニューアルを効率よくローコストでセンス良くまとめた例を楽しく紹介していただきました。

編集後記

今回の沖縄での全国大会は横山部長のもとご家族、スタッフのみなさんと一緒に参加いただける内容を目指しています。ぜひ、みなさまお誘い合わせのうえ、全国大会の地、沖縄へお越しください。

全国大会Facebookページでは最新情報が日々更新されていますので是非ご覧ください「いいね!」をお願いします。

www.facebook.com/zenkokutai

全旅連青年部 広報委員会 黒岩 透



平成24年度全旅連女性経営者の会(JKK)定例会・勉強会開催



全旅連女性経営者の会(JKK,石橋利栄会長)は6月26、27日、埼玉県・秩父の「ホテル美やま」で第4回定例会と勉強会を実施した。

各委員会報告では、総務・財務委員会が次回定例会について、広報IT委員会が会員拡大活動等について報告、このほか、冊子委員会、ピンクリボン事業を行っている社会貢献委員会、勉強会を受け持つ研修委員会がそれぞれ報告を行った。

勉強会は社会貢献活動の一環として、講師に岡部満吉氏を招聘して「聴覚障害者の接し方と心得、手話」をテーマに手話講習会を行った。数や指文字の表現のほかフロントと宿泊客との間で交わされる会話などを学んだ。このほか「救命救急いざという時」をテーマに秩父消防署の皆さんによる救命講習を受講して知識と技術を学んだ。

また、「会員による役立つ講座」では、野口露珠会員(群馬県・ホテルルカ)が「自己啓発を始めよう」と題して、高橋美江会員(栃木県・ホテルサンシャイン益子館)が「益子館で取り組むバンド活動」と題してそれぞれ講演を行った。益子館では「お客さまにいかにも楽しんでもらえるか」を模索する中で、「経費もかけずに、自分たちも楽しみながら音楽で人と人をつなごう」と2009年の正月にバンド「シャインズ」をデビューさせた。バンドはドラムの女将(講師の高橋さん)と社員の6名からなる。現在は、毎週土曜日、夜、お客さまとの触れ合いの場としてロビーコンサートを開いている。今では「音楽を楽しむ姿が素晴らしい」と宿泊客からエールが送られている。高橋さんは「お客さまに喜んでもらい自分たちの気持ちをいかに伝えるか」について語った。

JKKは第5回定例会議を9月3、4日、滋賀県大津市



写真左から手話の岡部講師に「会員による役立つ講座」で語る野口、高橋両会員



坂本九の「見上げてごらん夜の星を」を見事に手話で表現した会員のみなさん



「救命救急いざという時」をテーマに講習

の「おごと温泉びわ湖花街道」で開催(3日、勉強会として同市の「大津プリンスホテル」で開催される湯元館の第50期経営方針発表会を見学。4日、役員会、定例会、会員による役立つ講座「私の営業戦略について」を実施) 予定。なお、第6回定例会議は平成25年2月開催の予定。

第15回「人に優しい地域の宿づくり賞」受賞者紹介

選考委員会賞

別府市旅館ホテル組合連合会

「4ヶ国語(英・韓・中・日)対応の『接客シート・通訳ペン』の導入による人材育成とおもてなしの取り組みについて」

別府市旅館ホテル組合連合会(代表 上月敬一郎)は外国人観光客受入強化対策として、4ヶ国語対応の音声ペンを使った通訳マニュアル「一期一会」を制作した。

これは「創立100周年」を迎えた同連合会がこれからの100年に向けた新たな宿泊客獲得(外国人観光客含む)のための取り組みである。外国人観光客の受け入れでは、どうしても「言葉の不便さ」が大きな障害となっていることから、外国人の接客で使う4ヶ国語の例文を示した専用シートと、例文を読み上げる音声ペンのセット「一期一会」を完成させ、会員である112の各施設に昨年9月から一斉に導入した。

「セーラー万年筆(東京都江東区)」が音声ペンを製造し、「九州ふるさと(長崎県長崎市)」が建設コンサルタント会社と共同でペンに対応した専用シートとソフトを開発した。同連合会は、旅館やホテルのフロント係にアンケートを行い、現場でよく使うフレーズ、よくある質問や答えを集めた中から約100のフレーズに絞り込んだ。

これらは「いらっしゃいませ」といった挨拶や宿泊手続きなどの際に使う例文のほか、清算の方法、食事や温泉の案内などで実践的なものに仕上がっている。

この他にも「従業員教育用シート」も付帯し、接客時に必要となる基本的な会話を28項目掲載。繰り返し使うことで正しい発音を耳から覚えることができる。

“声が出るペン”というサプライズや楽しさなども追求した宿泊客獲得事業である。

電源を入れて、言語を選択しシートに触れるだけ。操作はとっても簡単。



観光経済新聞社社長賞

道後温泉旅館協同組合

「道後温泉 新・おもてなしサービス『以心伝心』」

道後温泉旅館協同組合(代表 大木正治)は全組合員をあげての「おもてなし道後」の取り組みを始めた。道後にある30軒の旅館・ホテルとまちの施設、そして住民が心をつにして、『道後』の旅をもっと便利に、もっと優しく」をテーマとして取組んだ。「お客様に感動を伝えたい」との思いから始まった新しいサービスで、2010年11月からプロジェクトが始動し、翌11年7月より本格的にスタートした。これはお客様が道後を訪れる限り、永久的に続く取り組みである。

「以心伝心心づくしサービス」は10の“ほっ”とする心づくしサービスからなる。①湯めぐりの“ほっ”(道後温泉の中心施設である道後温泉本館と旅館・ホテルの湯を堪能してもらう)②足湯の“ほっ”(風情溢れる自慢の足湯・手湯を楽しんでもらう)③休み処の“ほっ”(湯のまち歩きに疲れたらロビーで気軽に休んでもらう)、以上の①～③で「癒し」を提供する。④お手洗いの“ほっ”(お手洗いを気軽に利用できる)⑤授乳とおむつ交換の“ほっ”(お母さんが安心して授乳、おむつ交換のできる無料スペースの提供)、④と⑤で「安心」を提供する。そして「情報」でもてなすために⑥旅情報の“ほっ”(スムーズな観光を実現するために多彩な情報を無料提供)⑦インターネットの“ほっ”(ロビー設置のパソコンでインターネットサービスを提供)を用意している。そして⑧車椅子⑨ベビーカー⑩雨傘の無料貸出しにより「便利」でもてなす。

特に赤ちゃん連れのお客様には道後温泉を200%楽しんでもらえるように尽力している。



心をひとつにして、「ようこそ」の想いをカタチにした取り組みである

平成24年7月から、牛の肝臓（レバー）を生食用として販売・提供することを禁止しています。

● 飲食店事業者の方へ ●

厚生労働省は、食品衛生法に基づき、牛の肝臓（レバー）に関する新たな基準を設定し、平成24年7月から、牛のレバーを生食用として販売・提供することを禁止しました。

<新しい基準のポイント>

- ① 牛のレバーを原料として調理する場合は、レバーの中心部まで十分に加熱しなければなりません。（中心部の温度が63℃で30分間以上、または75℃で1分間以上など）
- ② 牛のレバーは、『加熱用』として提供しなければなりません。
▶ 『生食用』『刺身』として牛のレバーの提供はできません。
- ③ 来店客が自ら調理するため、加熱していない牛のレバーを提供する際には、中心部まで十分な加熱が必要である旨の案内をしなければなりません。
▶ 飲食店において来店客が店で自ら調理して食べる場合には、飲食店はコンロや七輪などの加熱調理ができる設備を必ず提供して下さい。
▶ 飲食店事業者は、来店客が牛のレバーを中心部まで十分に加熱して食べるよう、『加熱用であること』、『調理の際に中心部まで加熱する必要があること』、『食中毒の危険性があるため生で食べられないこと』などを、メニューや店内での掲示などにより来店客に案内して下さい。
▶ もし、来店客が生や不十分な加熱のままで食べている場合には、十分に加熱して食べるよう説明して下さい。

どうして牛の「レバ刺し」を食べてはいけないの？

腸管出血性大腸菌による、食中毒の可能性があるからです。

◆牛の肝臓（レバー）の内部には、「O157」などの腸管出血性大腸菌がいることがあります。

と畜場で解体された牛の肝臓内部から、重い病気を引き起こす食中毒の原因となる腸管出血性大腸菌が検出されました。新鮮なものでも、冷蔵庫に入れていても、衛生管理を十分に行っても、牛の肝臓の内部には腸管出血性大腸菌がいることがあります。

◆実際に、食中毒が起きています。

生の牛の肝臓などが原因と考えられる食中毒は平成10年から平成23年に128件（患者数852人）発生し、うち22件（患者数79人）は、腸管出血性大腸菌が原因です。厚生労働省は、平成23年7月に提供の自粛を要請しましたが、その後も食中毒事例が報告されています。

腸管出血性大腸菌は、重い病気や死亡の原因になります。

◆腸管出血性大腸菌は、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの危険な病気を起こし、死亡の原因にもなります。

腸管出血性大腸菌は、わずか2～9個の菌だけでも、病気を起こします。HUSは、腸管出血性大腸菌感染者の約10～15%で発症し、HUS発症者の約1～5%が死亡するとされています。平成23年には、腸管出血性大腸菌による集団食中毒事件で5名の方がお亡くなりになるという痛ましい事件が起きています。

今のところ、生で食べないことが、唯一の予防法です。

◆牛の肝臓が腸管出血性大腸菌に汚染されているかどうかを検査する方法や、洗浄・殺菌方法など、有効な予防対策は見いだせていません。

※詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「牛レバーの生食はやめましょう」をご覧ください。

牛レバー 厚生労働省 検索

全旅連会議開催

【7月】

6日(金)

●全国旅館会館建て替えに関する打ち合わせ

9日(月)

●全旅連シルバースター部会常任委員会

観光庁長官・幹部との懇談会(下記写真)

10日(火)

●平成24年度全旅連シルバースター部会総代会
於:都道府県会館(東京都千代田区)

17日(火)

●全旅連青年部常任理事会

18日(水)

●全旅連青年部陳情活動

●全旅連青年部臨時総会

於:ホテルニューオータニ(東京都千代田区)

19日(木)

●女性経営者の会(JKK)役員会

20日(金)

●第51回全旅連シルバースター登録審査委員会

24日(火)

●全旅連政策委員会金融対策小委員会

●全旅連政策委員会税制対策小委員会

26日(木)

●楽天トラベル(株)との協議会



全旅連シルバースター部会常任委員会終了後、観光庁との懇談会において意見交換がなされた。井手観光庁長官(下段中央)らを囲んで、佐藤会長、シルバースター部会の多田部会長、中村副部会長と常任委員、野澤事業委員長、山本環境推進小委員長、宮村総務委員長、工藤政策委員長で記念撮影。

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座 渡邊 清一郎

「夜はいくらか涼しい?」

暑い夏がやってきました。涼しい深夜にお勧めの10冊。少々男性好みなのはご容赦ください。

●「動的平衡2」福岡伸一著 たまたま同い年の生物学者による人間賛歌。前著「動的平衡」とあわせてどうぞ。

●「秋月記」葉室麟著 武士(もののふ)って素敵です。山本周五郎の「樅の木は残った」に通ずる読後感。

●「天皇と原爆」西尾幹二著 開戦から70年の今、8月15日を前に読んでおきたい一冊。

●「謎手本忠臣蔵」加藤廣著 読み応え十分、納得の1000ページ。(文庫本)

●「幻の黄金時代」西村幸祐著 目の前の危機を乗り越えるヒントがああ時代にあった。

●「疾き雲のごとく」伊東潤著 大好きな時代小説家の北条早雲伝。読ませてくれます。

●「現代語古事記」竹田恒泰著 日本神話の勉強しなおし。この年になって改めてその大切さを教えられました。

●「影法師」百田尚樹著 名著「永遠のゼロ」の作者による渾身の時代物。涙が止まりません。

●「人生に悩んだら日本史に聞こう」ひすいこたろう・白駒妃登美著 人生が生き生きとしてきますよ。

●「ひと目でわかる日韓・日中歴史の真実」水間政憲著 石原都知事推薦。捏造史観から脱却しましょう。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp

または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

全旅連協定商社からのお知らせ

リクルート社と

ロイヤリティマーケティング社が業務提携

宿泊予約サイト「じゃらん」などを運営するリクルート社と共通ポイントプログラム「Ponta」を運営するロイヤリティマーケティング社は、このたびボンパレ及びホットペッパービューティーにおけるポイントプログラムの連携に関する覚書を締結した。

具体的にはボンパレ及びホットペッパービューティーにてカスタマーアクションに対し「Ponta」ポイントの追加的付与と、「Ponta」ポイントから「じゃらん／ホットペッパー」ポイントへの一方向の交換を行う予定。

※共通ポイントプログラム「Ponta(ポンタ)」とは、1枚のポイントカードで様々な提携企業の店やWebサイトで共通のポイントをため、つかうことのできるサービス。ローソン、ゲオ、ケンタッキーフライドチキン、昭和シェル石油などが参加している。2012年6月末時点で会員数は4606万人、提携企業数は52社に及ぶ(7/15)。

旅館ホテル生衛組合の組合員の皆様へ 振興事業貸付のご案内

公庫からの
耳寄り情報

- ★ 旅館ホテル生衛組合の組合員の方が対象の融資制度です。
- ★ 一般貸付よりも、利率、返済期間などの融資条件が有利になっています。
- ★ 「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」を策定し、組合から一定の会計書類を準備していることの確認及び事業計画の確認を受けた方は、利率が0.15%引き下げとなります（振興特利設備・振興運転に限ります。）。

ポイント

設備資金（※）の場合、
「基準利率－0.9%」の適用が可能
（※）振興特利設備に限ります。



「振興事業促進支援融資制度」で、
さらに0.15%利率を低減

さらに

基準利率より1.05%低減！

設備資金については、ご融資から2年間、利率が0.5%引き下げとなります！！

※特定被災区域で雇用の維持または拡大を伴う設備投資を行う場合、3年目以降も対象となります。

振興事業貸付のご案内（旅館業の場合）

	設備資金	運転資金
ご融資額	7億2,000万円以内	5,700万円以内
ご返済期間	18年以内 (特別な場合20年以内)	5年以内 (特に必要な場合7年以内)
主な利率(注)(年利)	特別利率C～基準利率	基準利率
特利を適用する設備	店舗の建替え、内外装工事、ボイラー、寝具、送迎車、AV機器、省エネルギー設備など	

- (注) 1. ご返済期間やお使いみちなどによって利率が変わります。
2. 振興事業促進支援融資制度を適用した場合は、利率が0.15%引き下げとなります（振興特利設備・振興運転に限ります）。
3. ご融資後に組合を脱退したことにより、振興計画に基づく事業が実施できないと認められた場合には特別利率の適用を解除し、基準利率に引き上げを行う場合があります。

◆ご利用にあたっては組合の長が発行する「振興事業に係る資金証明書」が必要です。事業計画の確認を受けた場合は、「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の写しも必要となります。

◆審査の結果、お客さまのご希望に沿えないことがあります。



日本政策金融公庫
国民生活事業

事業資金相談専用ダイヤル

事業資金に関する融資制度、お申込手続きの
お問い合わせ・ご相談はこちらまで

(行こうよ！公庫)

 **0120-154-505**